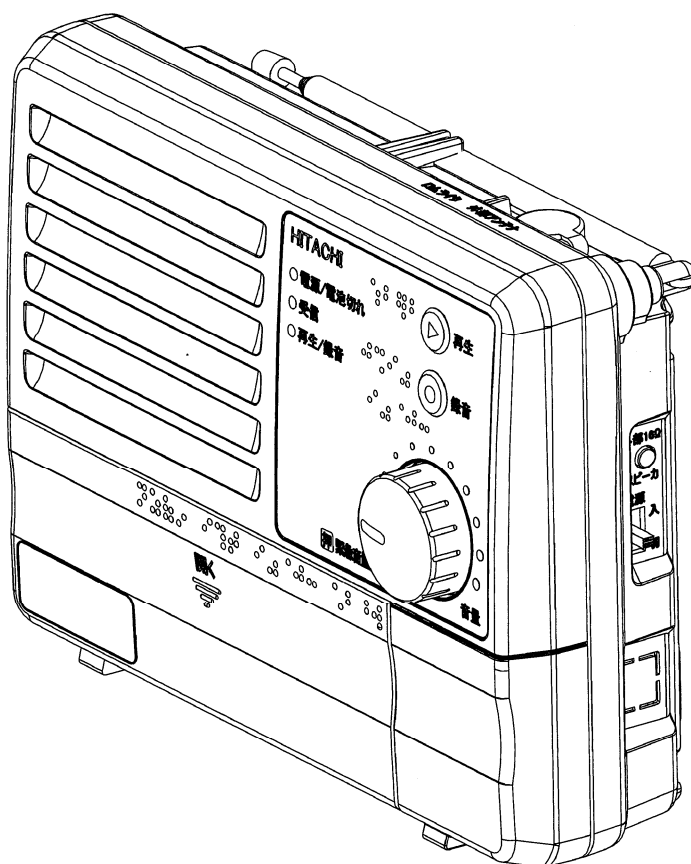


HITACHI

戸別受信機 ECF-8607R ご使用のしおり



本製品を正しくお使いいただくために、‘ご使用のしおり’を熟読し、大切に保管してください。

安全にお使いいただくために

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
お使いになる前に必ず「ご使用のしおり」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになりましたあとは、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。

絵表示について

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。



警告

この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

絵表示の例



△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



●記号は行為を強制指示する内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図の場合は「電源プラグをコンセントから抜いてください」）が描かれています。

 警告	
● ご使用中に、発煙、異臭、断続的または継続的な異音などが発生した場合には、ただちに本体の電源スイッチを切り、AC 電源ケーブルを抜いてください。 火災、感電、故障の原因となります。煙が出なくなるのを確認してサービスステーションに修理をご依頼ください。	 
● 万一、水や異物が機器内部に入った場合は、ただちに本体の電源スイッチを切り、AC 電源ケーブルをコンセントから抜いて、サービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。	 
● 万一、機器が破損したり、AC 電源ケーブルが損傷した場合は、本体の電源スイッチを切り、ただちに AC 電源ケーブルをコンセントから抜いて、サービスステーションにご連絡ください。 そのまま使用すると火災、感電、故障の原因となります。	 
● 機器は、ねじを外したり改造しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。内部の点検・整備・修理は、サービスステーションにご依頼ください。	 
● 指定された電源電圧以外で使用しないでください。 火災、感電、故障の原因となります。 AC 100V 50/60Hz	
● 電源プラグはコンセントに確実に差込んでください。 電源プラグの刃は金属などが触れると火災、感電の原因となります。	
● 濡れた手で電源プラグやコンセントに触れないでください。 感電の原因となります。	
● AC 電源ケーブルを加工したり、無理に曲げ伸ばしたり、ねじりを加えないでください。 火災、感電の原因となることがあります。	
● 機器をねじったり、重いものをのせたり、押し付けたりして圧迫させないでください。 機器が破損し、火災、けが、やけどの原因となります。	
● 機器は、周囲に引火性ガス、腐食性ガスのあるところで使用しないでください。 火災の原因となることがあります。	
● 火やストーブのそば、直射日光が当たる場所など高温になる場所への設置、使用、放置は行わないでください。 機器の変形、故障、発熱、破裂、発火、及び性能や寿命の低下の原因となります。	

 注意	
● 機器は、「2. 機器仕様」で定める使用環境範囲の温度・湿度で使用してください。また、エアコンの吹き出し口や風通しの悪い所に置いたりしないでください。 急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。使用環境範囲外でのご使用は故障の原因となります。	
● AC 電源ケーブルを指定以外の機器には使用しないでください。 火災の原因となることがあります。	
● AC 電源ケーブルを長期間差し込んだままにしておくと、差し込部分に埃がたまります。1年に一回、AC 電源ケーブルをコンセントから抜いて、掃除してください。 火災の原因となることがあります。	
● 乾電池は、加熱したり、分解したり、火のなかに入れないでください。 乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けがややけどの原因となることがあります。	
● 乾電池は、指定のものを極性表示に注意し、表示どおりに入れてください。また、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。 乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。	
● 電源/電池切れランプが「緑/赤の交互点滅」を始めたり、放送の終わりに「乾電池を交換してください」と音声メッセージが聞こえるようになるか、またはブザー音が聞こえたら、新しい電池と交換してください。 緊急時に屋外で使用出来ない場合があります。また、乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。	
● 乾電池はアルカリ乾電池を定期的に(単1形、単2形で1年毎、単3形で3ヶ月毎)交換してください。マンガン乾電池や充電タイプの乾電池は使用しないでください。 定期的に2本とも交換してください。緊急時に屋外で使用出来ない場合があります。また、乾電池の破裂、液漏れにより、火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。	
● 本製品を移動させる場合は、AC 電源ケーブルをコンセントから抜き、本体に接続されているケーブルがないことを確認の上、移動させてください。 AC 電源ケーブルが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。	
● 乳幼児の手の届く所で使用しないでください。 けがの原因となります。	

目次

1. 装置概要	6
2. 機器仕様	6
3. 付属品	7
4. 基本機能の使用方法	8
4.1. 各部の名称と使い方	8
4.2. 電源状態表示と鳴動音	11
4.3. 防災放送の受信表示と鳴動音	11
5. 録音・再生機能の使用方法	12
5.1. 録音・再生機能について	12
5.2. 録音・再生機能の表示	12
5.3. 録音・再生機能の操作方法	13
6. 乾電池の交換方法	15
6.1. 乾電池の取り出し方	15
6.2. 乾電池の入れ方	16
6.3. スペーサと端子ホルダの向き	17
7. 本体と壁掛けホルダとの取り付け取り外し方法	20
8. お手入れ方法	21
9. 故障かなと思ったら	21
10. 取り付け方法(工事者用)	22
10.1. 壁掛け時の取り付け方法	23
10.2. 据え置き時の取り付け方法	23

サービスの問い合わせ先

修理・アフターサービス等、ご不明な点は、自治体の担当部署、またはサービスステーションにお問い合わせください。問い合わせ先は、最終ページに記載されている URL より確認してください。

1. 装置概要

- (1) 本製品は自治体等からの防災放送を受信する装置です。
- (2) 平常時は、音量つまみによる任意の音量で防災放送を受信します。また、緊急放送時には、音量つまみの位置にかかわらず、受信した防災放送は最大音量になります。
- (3) 緊急放送の音量が大きすぎると感じたときは、緊急音量解除スイッチ(音量つまみと兼用)を押すと平常時の音量つまみ位置の音量に戻ります。
- (4) 本製品は家庭用 AC100V 電源で動作します。停電時には、自動的に内蔵の乾電池に切替り動作します。
- (5) 放送の受信状態を受信ランプでお知らせします。
- (6) 本製品の異常をブザーによりお知らせします。
- (7) 電源/電池切れランプの点滅、音声メッセージで乾電池の交換をお知らせします。
- (8) 録音機能には自動録音、留守録音、手動録音及び再生機能があります。録音は、最大録音時間約 40 分、最大録音件数 80 件の録音が可能です。*1

*1 録音・再生機能の詳細は 5 章を参照ください。

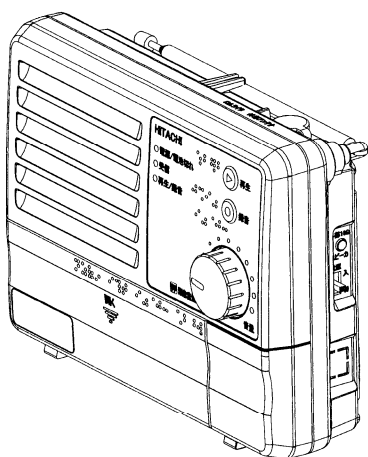
2. 機器仕様

項目	仕様
周波数帯	60MHz帯
受信感度	-2dB μ V 以下 (BER=1%)
スピーカ出力	AC100V 駆動時:0.5W 以上/乾電池動作時:0.2W 以上
温度/湿度	0~40°C/95%以下
寸法	208(W)×61(D)×150(H) mm
質量	約 800g(乾電池を除く)
使用電源	AC100V、50Hz/60Hz / 乾電池:3V (2 本)
消費電力	約 5W (AC100V 動作時)
使用乾電池	アルカリ単 1 形乾電池×2 もしくは、アルカリ単 2 形乾電池×2、アルカリ単 3 形乾電池×2 のいずれか
耐用年数	7 年 (ただし、乾電池は含みません)

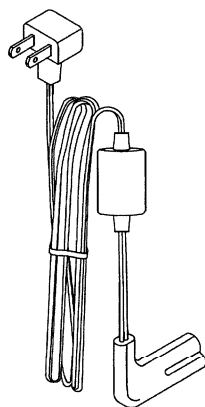
3. 付属品

本製品を受け取りましたら、同梱されている付属品をご確認ください。

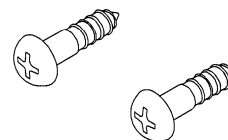
品名	個数
本体	1台
AC 電源ケーブル(2.5m)	1本
壁掛けホルダ	1個
壁掛けねじ(壁掛けホルダ内に実装)	2本
単 2 形乾電池(標準)	2本
ご使用のしおり(本書)	1冊



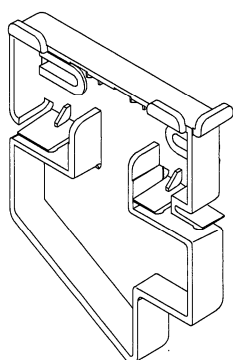
本体 1 台



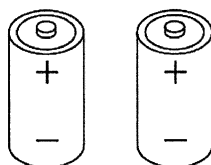
AC 電源ケーブル 1 個



壁掛けねじ 2 本



壁掛けホルダ 1 個



単 2 形乾電池 2 本

4. 基本機能の使用方式

4.1. 各部の名称と使い方

ロッドアンテナ

電波の強い場所ではこのアンテナを使用して受信します。角度をかえると受信出来なくなる場合がありますので取り付け時の状態を保ってください。
使用時は手で触れたり動かしたりしないでください。

外部アンテナ端子

外部アンテナ端子は電波の弱い場所で使用するとき、外部アンテナを接続して使用します。

スピーカ

ここから音が鳴ります。

乾電池

停電時に備え乾電池(2本)を本製品の表示通り正しく入れてください。
乾電池は単1形、単2形、単3形が使用出来ます。

電源スイッチ

「入」側に上へスライドさせると電源が入ります。
「切」側に下へスライドさせると電源が切れます。

外部スピーカ端子

外部スピーカを接続する際に使用します。
φ=3.5mm のモノラルミニジャックです。
接続スピーカは、定格出力 1W 以上、公称インピーダンス 16Ω、モノラルタイプのプラグのスピーカを使用してください。



警告

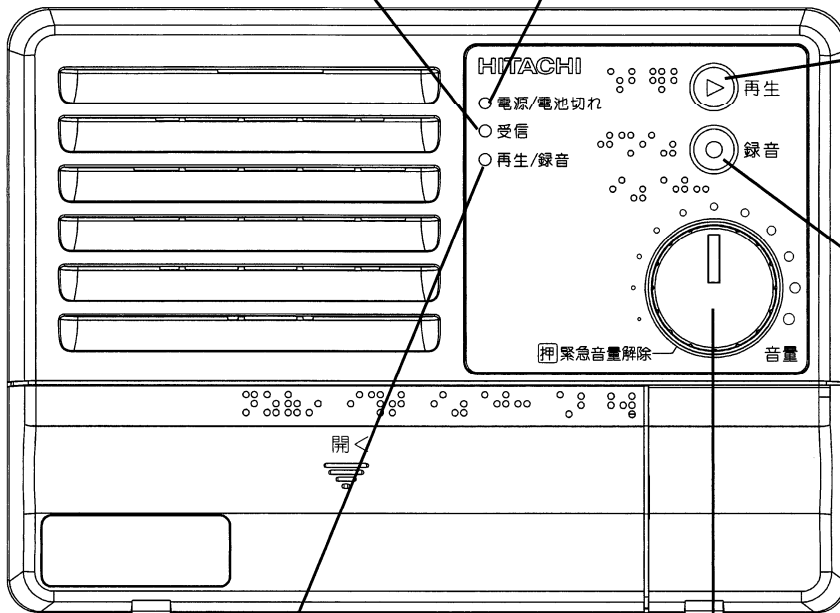
- 外部スピーカ接続プラグは、ステレオプラグや、モノラルステレオ変換プラグを使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部スピーカ端子からの出力をショートさせないでください。故障の原因となります。
- 外部スピーカ端子にイヤホンやヘッドホンを使用しないでください。故障の原因となります。また大音量により聴力障害の原因となります。

受信ランプ

放送を受信していないときには
消灯します。
放送を受信すると緑色に点灯し
ます。 *1

電源/電池切れランプ

電源を入れると緑色に点灯します。
乾電池動作時は緑色に点滅します。
乾電池の電圧が低下すると緑/赤色の交
互点滅をします。
乾電池動作時に乾電池の電圧が低下す
ると赤色に点滅します。 *1



再生ボタン (5 章参照)

録音メッセージを聞くと
きには、このボタンを押して
ください。

録音ボタン (5 章参照)

放送を手動で録音する
ときには、このボタンを押して
ください。
留守録を設定または解除
するときは、このボタンを
長押し(約 2 秒以上)して
ください。

再生/録音ランプ (5 章参照)

録音中は赤く点灯します。
未再生の録音メッセージがある
ときは、赤く点滅します。
留守録設定中は水色に点灯
します。
留守録設定中に未再生の録
音メッセージがあるときは、
赤/水色の交互点滅します。
再生中は緑に点灯します。

音量つまみ 兼 緊急音量解除スイッチ

- 時計方向に回すと音が大きくなります。
お好みの音量になるよう、調節してください。
(最小に設定しても音が聞こえます。)
- 緊急放送時に音量が最大になります。
音量つまみを押すことにより設定位置の
音量に戻ります。
- 待受け中に長押しすることにより各ランプが
白色に点灯します。*2
受信状態や録音状態により点灯する
ランプが異なります。
- 放送受信中または録音メッセージ再生中に
音量つまみを押すと、鳴っている音質が変わ
ります。
音質は、「標準」「なめらか」「はっきり」の
3種類あります。お好みの音質に変更して
ご使用ください。*3
電源スイッチを切ると標準の音質に戻ります。

*1 ランプの詳細動作は、11 ページを
ご参照ください。

*2 乾電池動作時に白色点灯を長時間
点灯させると、動作時間が短くなります。

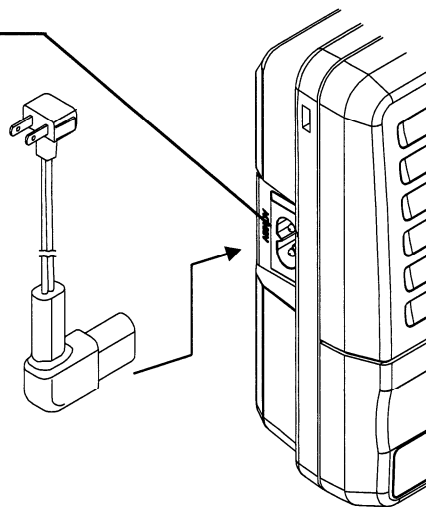
*3 音量つまみを押すと以下の順で音質が
変更されます

「標準」→「なめらか」→「はっきり」



AC 電源入力端子

AC 電源ケーブルを接続します。
AC 電源ケーブルのプラグを奥
までしっかりと差し込んでください。



電源の注意事項

通常は AC 電源ケーブルを使用し、電源スイッチが「入」のまま、AC 電源ケーブルをコンセントから抜かないでください。AC 電源ケーブルを抜くと、自動的に内蔵の乾電池に切り替わり、乾電池が消耗します。一ヶ月以上、家を留守にする場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、AC 電源ケーブルを抜き、かつ乾電池の液漏れによる装置の故障や汚れを防ぐために、乾電池を取り外しておいてください。

アンテナの注意事項

ロッドアンテナを使用するときは、短くしたり、角度を変えたりしますと受信出来なくなる場合がありますので、取り付け時の状態を保ってください。
外部アンテナを使用している時は、短く縮めてアンテナ収納部に固定してください。

4.2. 電源状態表示と鳴動音

電源の状態を電源/電池切れランプとブザーや音声メッセージの鳴動音でお知らせします。

電源/電池切れ ランプ	ブザー/音声メッセージ	動作状態
消灯	なし	電源オフ
緑色点灯	なし	電源オン AC 電源ケーブル動作 乾電池有り
緑色点滅	ピー ピー ピー (停電と同時に聞こえる)	電源オン 乾電池動作 停電時もしくは AC 電源ケーブル無し
緑/赤色の 交互点滅 *1	乾電池を交換してください。 (放送終了時に 2 回聞こえる) *2	電源オン AC 電源ケーブル動作 乾電池有り(乾電池電圧低下) もしくは乾電池無し
赤色点滅	乾電池を交換してください。 (放送終了時に 2 回聞こえる) *2	電源オン 乾電池動作(乾電池電圧低下) 停電時もしくは AC 電源ケーブル無し

*1 乾電池を装着していないとき、電源/電池切れランプが一時的に緑色点灯となることがありますが、これは故障ではありません。

*2 出荷時の設定により“ピーピー、ピーピー、ピーピー”というブザー音が鳴る場合や、英語の音声メッセージが鳴る場合があります。

4.3. 防災放送の受信表示と鳴動音

防災放送の受信状態を受信ランプとブザーの鳴動音でお知らせします。

受信ランプ	ブザー/放送音	動作状態
消灯	なし	待受中
緑色点灯	放送内容が鳴動 *3	放送中 (音声)
緑色点灯	ピー ピー ピー ピー ピー (放送前に 5 回聞こえる) 放送内容が鳴動	緊急放送中(音声)
黄色点灯	なし	放送中 (データ)

*3 試験等で無音の試験放送やデータ放送を受信する場合があります。

5. 録音・再生機能の使用法

5.1. 録音・再生機能について

受信した放送を録音および再生することが出来ます。

録音機能の説明

(1) 自動録音機能

自動録音対象の放送を自動に録音する機能です。

(2) 留守録機能

留守録機能を設定することにより、すべての放送を自動的に録音する機能です。

(3) 手動録音機能

自動録音対象以外を放送中に録音したいときに手動で録音する機能です。

手動録音機能は、録音している放送が終了すると録音が終了します。

使用上の注意

(1) 最大録音時間は約 40 分です。録音開始後約 40 分が経過すると、放送継続中でも録音は停止します。

(2) 最大録音件数は約 30 秒単位で 80 件分です。ただし、1 件分の録音件数が 30 秒を超えた場合は、録音件数が 80 件に満たない場合があります。

例) 録音時間が 1 分の場合は 2 件とカウントされるため、残り録音件数は 78 件となります。

(3) 録音メッセージは、古い録音内容から順番に上書きして録音されます。

(4) 電源スイッチを切っても録音メッセージの内容は消去されません。

(5) “録音ボタン”と“再生ボタン”を同時に長押しすると、録音メッセージを全て消去します。

(6) 録音メッセージ再生中に放送を受信した場合、再生を停止し放送音声を放送します。

(7) 放送の種類によっては、放送の録音中に緊急放送を受信すると、同じ内容の放送が 2 件録音される場合があります。

5.2. 録音・再生機能の表示

録音・再生の状態を録音・再生ランプでお知らせします。

再生/録音ランプ	動作	未再生の 録音メッセージ	留守録機能設定
消灯	待ち受け	なし	未設定
水色点灯	待ち受け	なし	設定
赤/水色の交互点滅	待ち受け	あり	設定
赤色点滅	待ち受け	あり	未設定
赤色点灯	放送録音中	—	—
緑色点灯	再生中	—	—

5.3. 録音・再生機能の操作方法

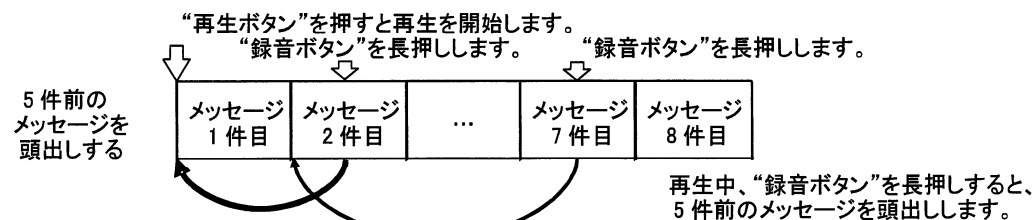
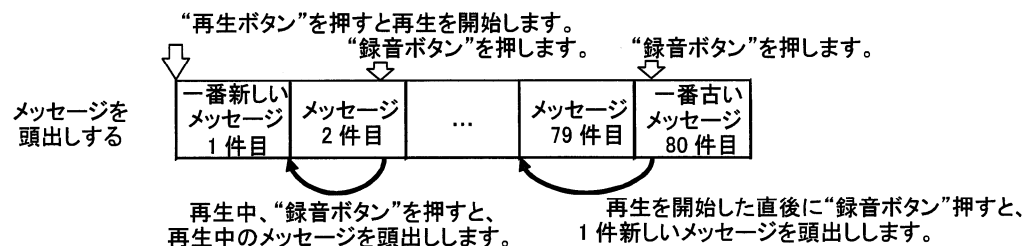
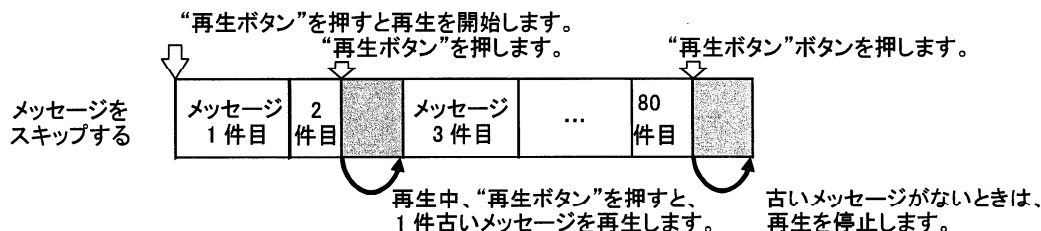
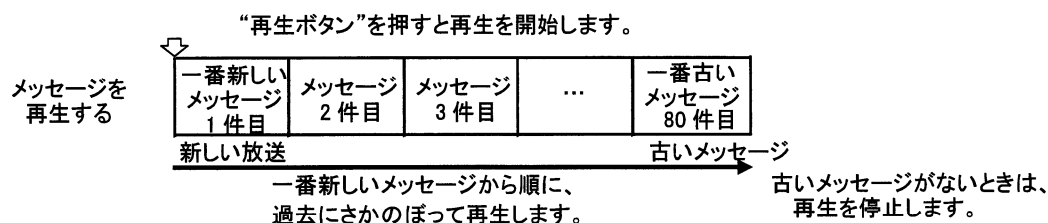
操作	操作方法	装置の動き
留守録を設定する	 録音 “待受け中”に“録音ボタン”を長押し*1します。	再生/録音ランプが水色に点灯し、留守録機能が設定されます。 放送が開始されると、再生/録音ランプが赤色に点灯し、録音を開始します。
留守録を解除する	 録音 “留守録中”に“録音ボタン”を長押し*1します。	再生/録音ランプが消灯し、留守録機能を解除します。
手動録音を開始する	 録音 “放送中”に“録音ボタン”を押します。	再生/録音ランプが赤色に点灯し、録音を開始します。 最大録音時間か放送終了のどちらか早い方で、自動的に録音を停止します。
手動録音を停止する	 録音 “録音中”に“録音ボタン”を押します。	再生/録音ランプが消灯し、録音を停止します。
メッセージを再生する	 再生 “待受け中”に“再生ボタン”を押します。	再生/録音ランプが緑色に点灯し、録音内容を新しいものから順に再生します。 古い録音内容が無い時は、再生/録音ランプが消灯し*2、再生を停止します。
メッセージの再生を停止する	 再生 “再生中”に“再生ボタン”を長押し*1します。	再生/録音ランプが消灯し*2、再生を停止します。
メッセージをスキップする	 再生 “再生中”に“再生ボタン”を押します。	1 件古い録音内容を再生します。 古い録音内容が無い時は、再生/録音ランプが消灯し*2、再生を停止します。
メッセージを頭出しする	 録音 “再生中”に“録音ボタン”を押します。	再生中のメッセージを頭出しします。 再生を開始した直後に押すと、1 件新しいメッセージを頭出しします。

録音・再生の操作方法(続き)

操作	操作方法	装置の動き
5件前のメッセージを頭出しする	 録音 “再生中”に“録音ボタン”を長押し*1します。	5件前のメッセージを頭出しします。
メッセージを全て消去する	 再生  録音 “待受け中”に“再生ボタン”と“録音ボタン”を同時に長押し*1します。	録音されているメッセージを全て消去します。

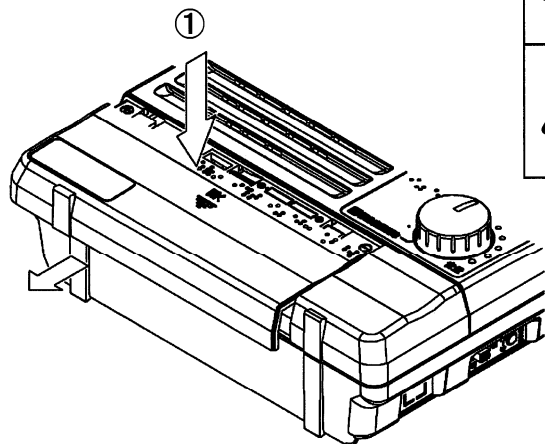
*1 ボタンの長押し時間は“2秒以上”を目安としてください。

*2 留守録設定時は、水色に点灯します。



6. 乾電池の交換方法

6.1. 乾電池の取り出し方



注意

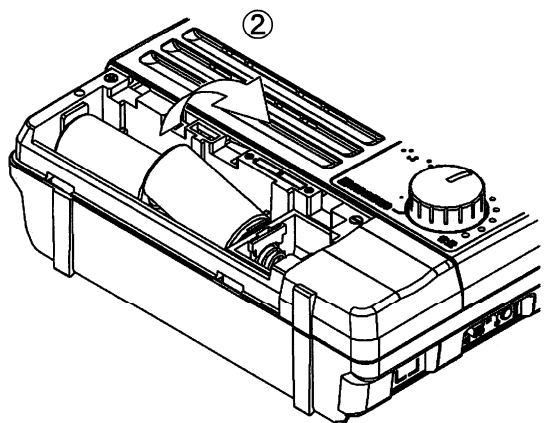
壁または柱に取り付けされている場合は乾電池を落下させないように充分に注意してください。



注意

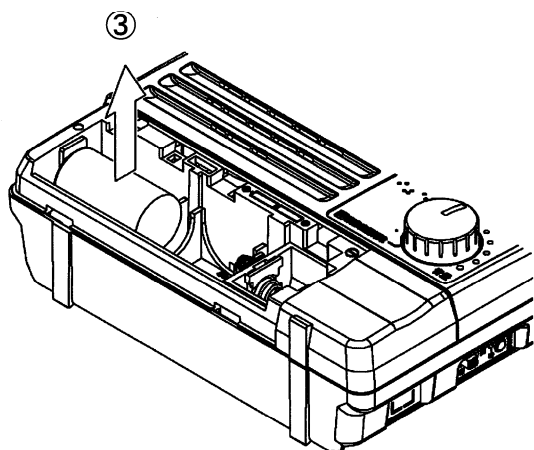
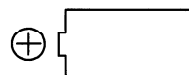
電池の交換作業は電源スイッチを「切」にしてから行ってください。

工場出荷時は、“単 2 形乾電池”用にスペーサを装着しています。
単 1 形または、単 3 形乾電池を使用する場合、先に 17 ページの 6.3 スペーサと端子ホルダの向きに従って、変更してください。

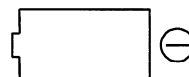


①ふたの「開く」の部分を押しながら下方方向にスライドさせることによりふたが外れます。

②右側の乾電池を取り出します。
乾電池の⊕側に指を掛け右側に押し付けながら引き上げてください。



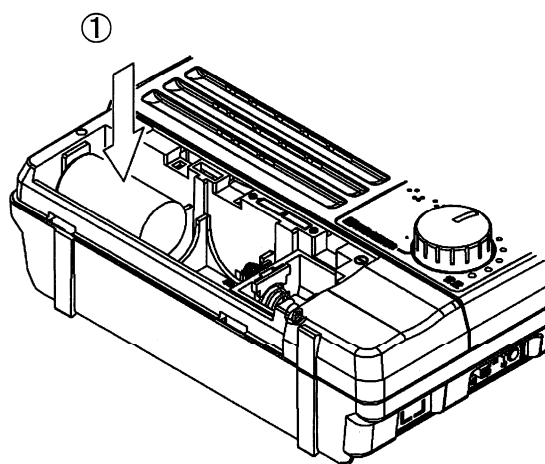
③左側の乾電池を取り出します。
乾電池の⊖側に指を掛け引き上げてください。



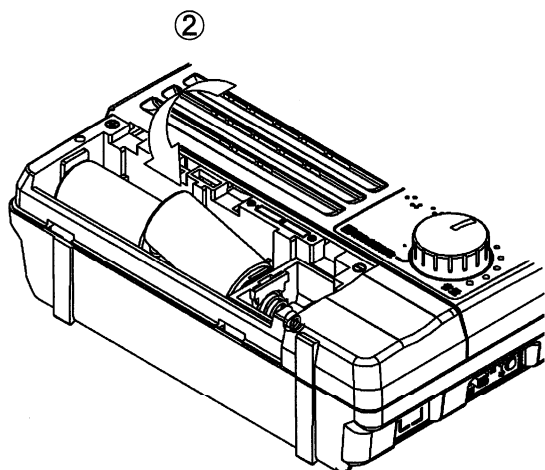
注意

使用済の乾電池は、火中になげこまないでください。爆発して火災、やけどすることがあります。

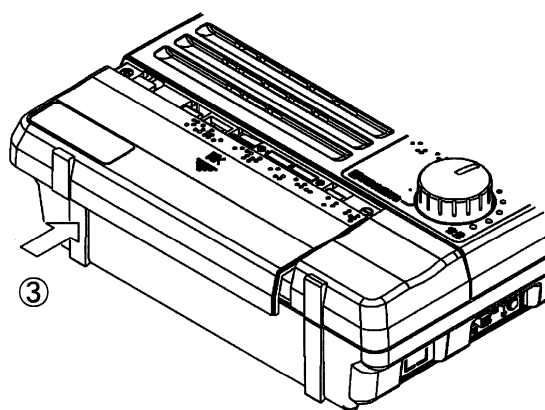
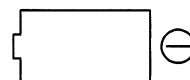
6.2. 乾電池の入れ方



- ①左側の乾電池を先に入れます。
乾電池の ⊕ 側を左側へ押し当てながら
入れます。



- ②右側の乾電池を入れます。
乾電池の ⊖ 側を入れ右側に押し付け
ながら ⊕ 側を入れます。



- ③ふたを下方方向から上にスライドさせ
「パチッ」と音がするまで押し込み
ます。



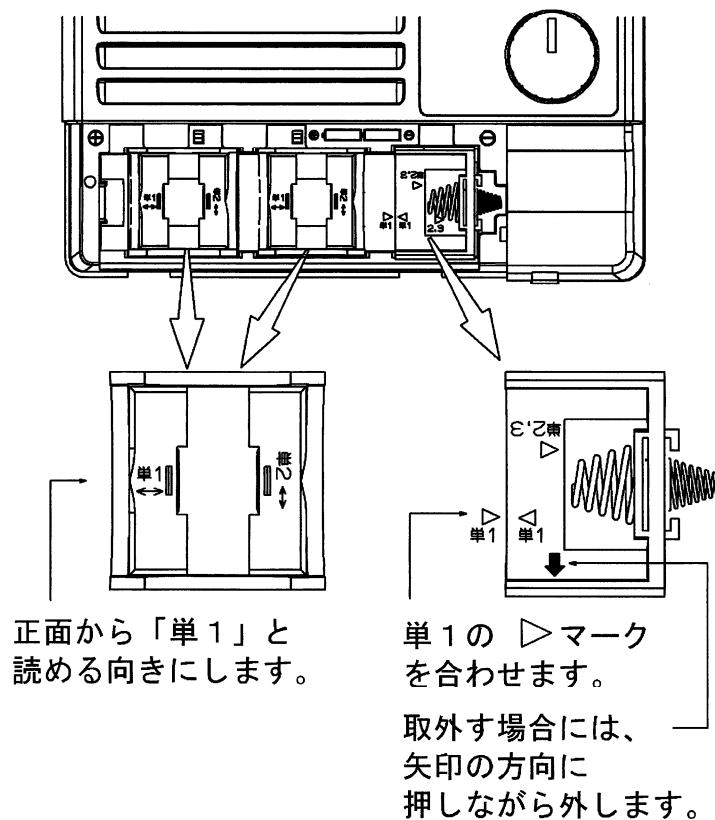
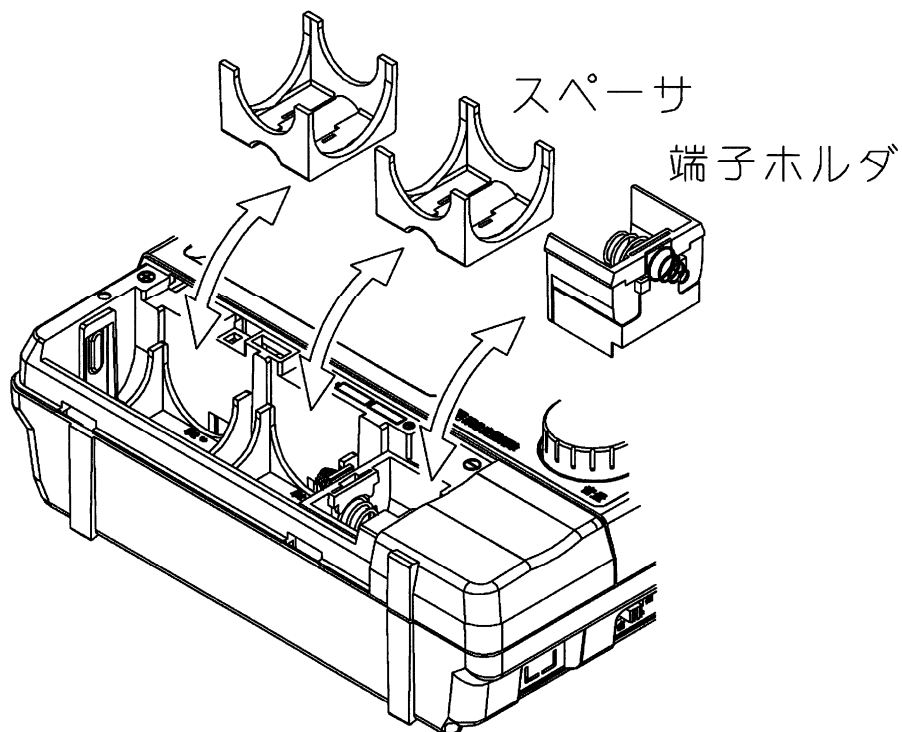
注意

ふたを閉めるときは、指を挟んだり、指をけがしないようにご注意ください。

6.3. スペーサと端子ホルダの向き

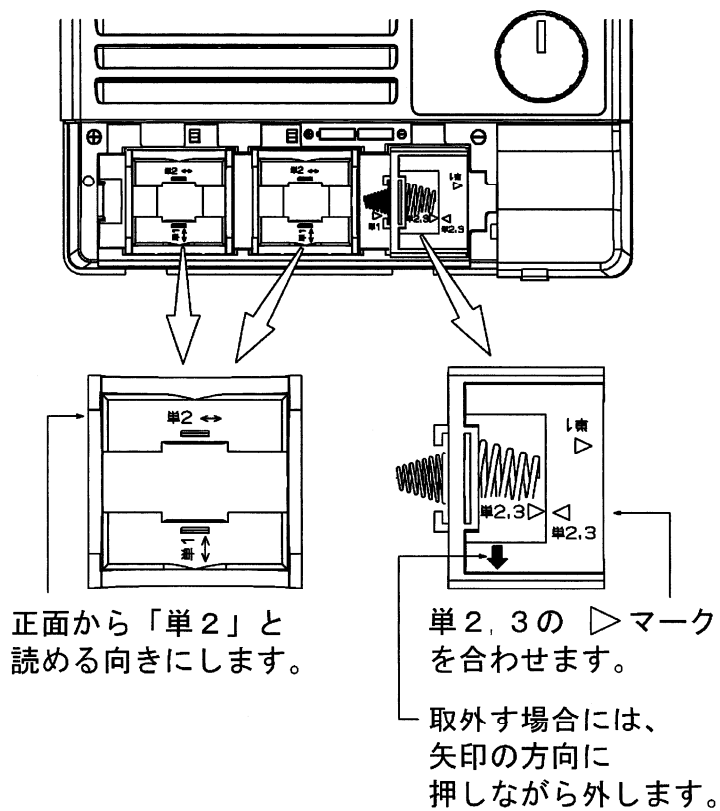
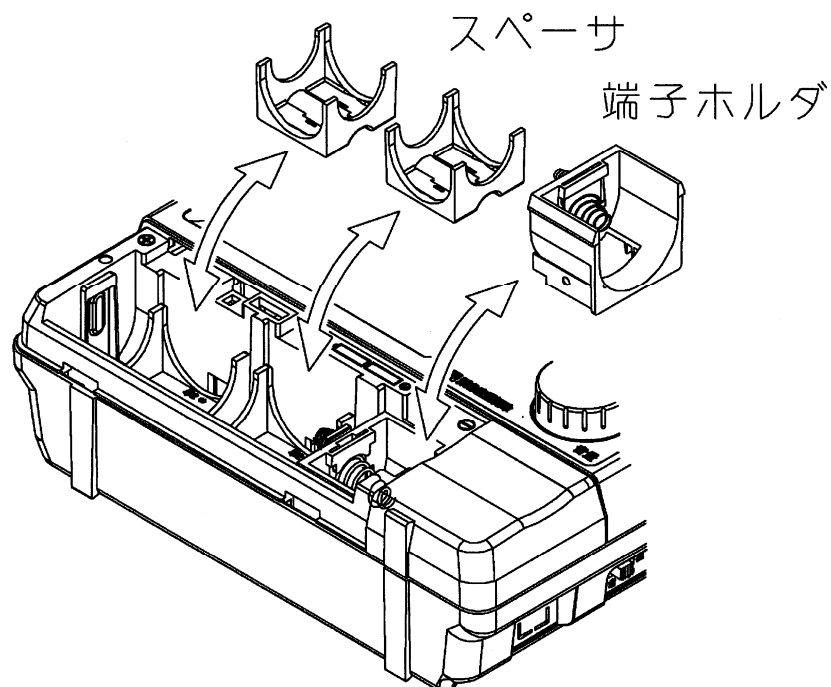
(1) 単 1 形乾電池を使用する場合

単 1 形乾電池をご使用の際はスペーサと端子ホルダを下図の向きに装着します。



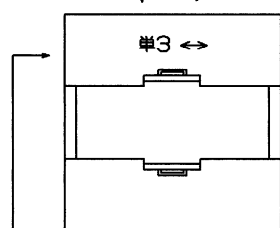
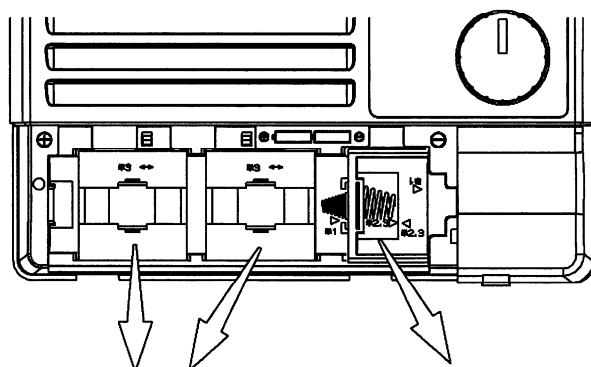
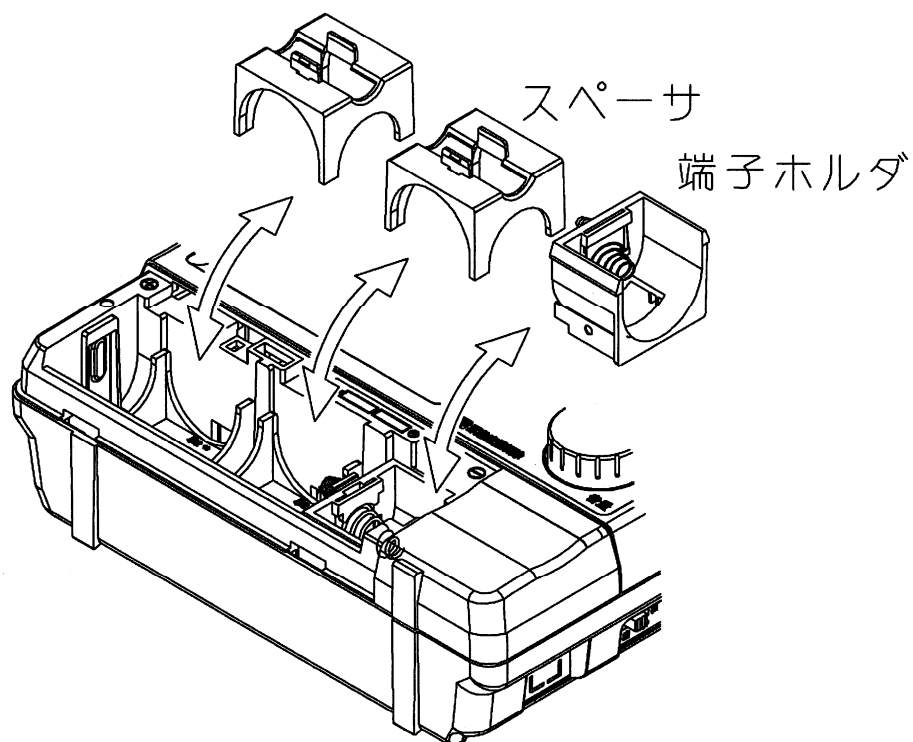
(2) 単 2 形乾電池を使用する場合

単 2 形乾電池をご使用の際はスペーサと端子ホルダを下図の向きに装着します。

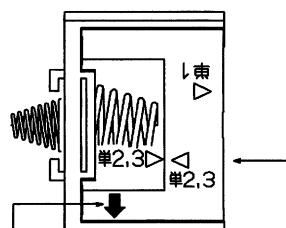


(3) 単 3 形乾電池を使用する場合

単 3 形乾電池をご使用の際はスペーサと端子ホルダを下図の向きに装着します。



正面から「単 3」と読める向きにします。

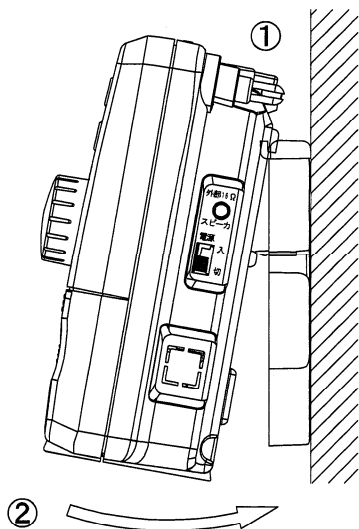


単 2, 3 の ▷ マークを合わせます。

取外す場合には、矢印の方向に押しながら外します。

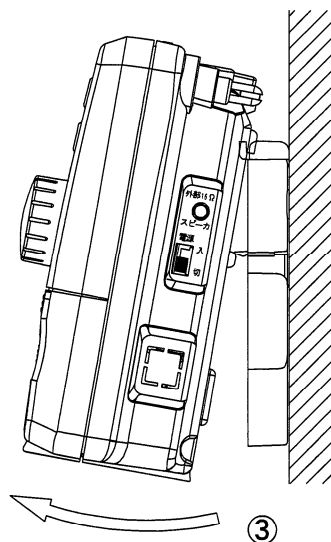
7. 本体と壁掛けホルダとの取り付け取り外し方法

(1) 壁掛け時の取り付け取外し方法



取り付け方法

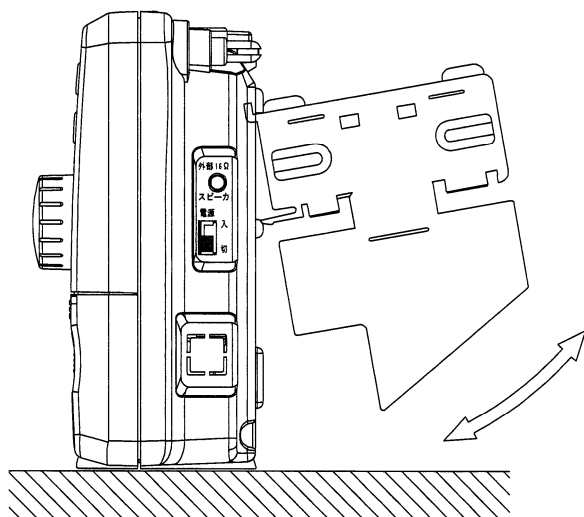
- ① 壁掛けホルダの上側の爪に本体を掛けます。
- ② 次に下側の爪を本体に差し込むことにより固定出来ます。



取り外し方法

- ③ 取り付け方法の逆の手順で行ってください。

(2) 据置き時の取り付け取外し方法



取り付け方法

壁掛けホルダの横上側の爪を本体に掛け、横下側の爪を本体に差し込むことにより固定出来ます。

取り外し方法

取り外し方法は取り付け方法の逆の手順で行ってください。

8. お手入れ方法

- (1) お手入れの際は安全のために本体の電源スイッチを切り、AC 電源ケーブルをコンセントから抜いてから行ってください。
- (2) 本体が汚れたときや水滴がついたときは、乾いた柔らかい布で拭き取りください。
- (3) AC 電源ケーブルの刃および刃の取り付け面にほこりが付着しているときは、よく拭いてください。火災の原因となります。
- (4) 一ヶ月以上、家を留守にする場合は、必ず電源スイッチを「切」にし、AC 電源ケーブルをコンセントから抜いてください。さらに、乾電池の液漏れによる装置の故障、汚れを防ぐために乾電池を取り出してください。
- (5) 本製品が不要となった時は、自治体の担当部署にご連絡ください。

 注意	● 濡れた布でふくと、故障の原因となりますので、おやめください。 ● ベンジン、シンナーなどで拭いたりすると、変質する可能性がありますので、使用しないでください。 ● 化学雑巾をご使用される場合は、化学雑巾の注意書きに従ってください。
---	---

9. 故障かなと思ったら

定時放送の時間になっても放送が聞こえない、聞き取りにくい等、おかしいと感じたときは、次のことを確認してください。

- (1) AC 電源ケーブルはコンセントに差し込んでありますか。
- (2) 電源スイッチは入っていますか。
- (3) 電源/電池切れランプは緑色点灯もしくは、緑色点滅、緑/赤色の交互点滅をしていますか。
- (4) ロッドアンテナはしっかりと伸ばしてありますか。(外部アンテナ使用時を除く)
- (5) 外部アンテナ使用時はアンテナケーブルコネクタが正しく差し込まれていますか。
- (6) ランプが本説明書に記載している内容と異なる組み合わせで点灯、または点滅している場合、通常の運用モードと異なる動作をしている可能性がありますので、その際は電源スイッチを一度「切」にしてから再度「入」にしてください。

放送が聞きとりにくく、途切れるようなときは電波が弱い場合もありますので、自治体の担当部署、またはサービスステーションにご相談ください。

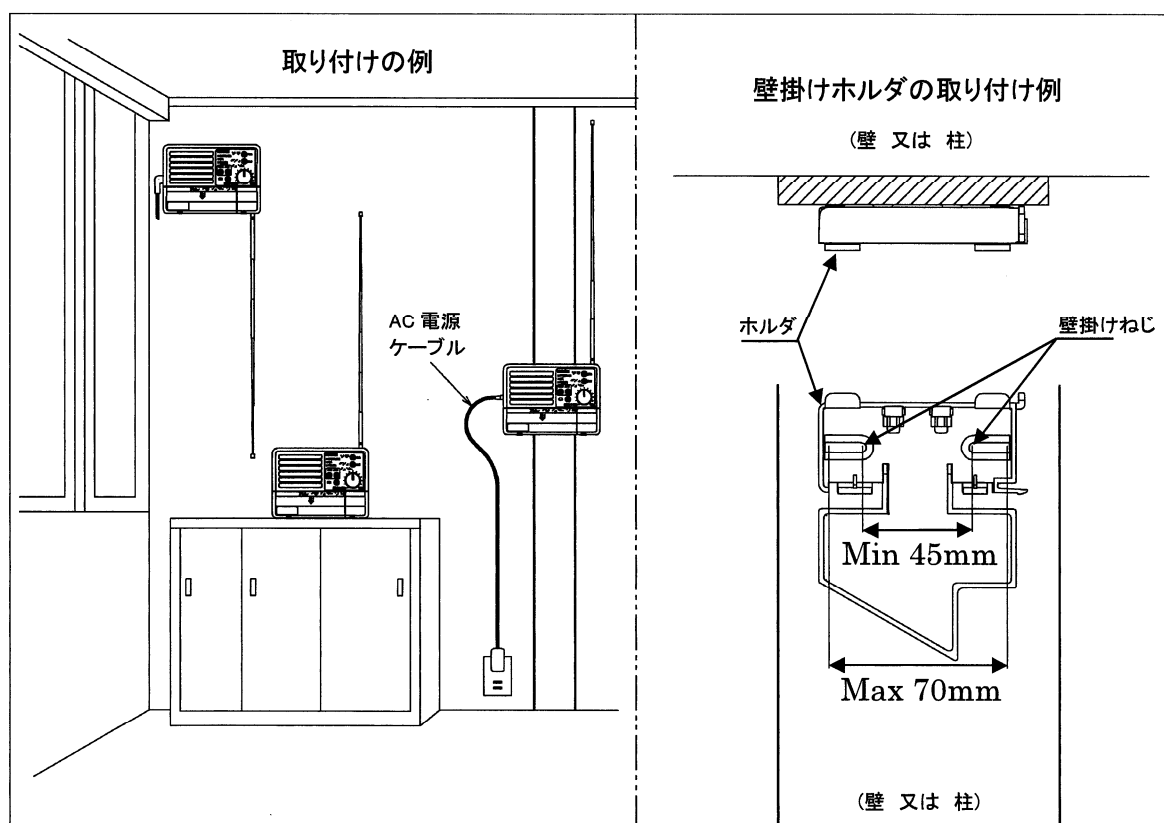
乾電池動作時に電源/電池切れランプが赤色点滅している場合は、放送等の音声聞きとりにくくなる場合があります。AC 電源ケーブルの接続もしくは新しい乾電池と交換してください。

10. 取り付け方法(工事者用)

- (1) 装置は床面より出来るだけ高い所(最低1m以上)に取り付けてください。
- (2) 長時間、直射日光のあたる所や、暖房器などの近くへの取り付けは避けてください。
- (3) テレビやラジオの電波が弱い所では、テレビやラジオに妨害をあたえる場合がありますので、装置は必ずテレビやラジオおよび引き込みケーブルより最低 2m以上離して取り付けてください。
- (4) 装置内部に精密部品を使用しておりますので、落下しないよう確実に取り付けてください。
- (5) もろい材質の壁や柱への取り付けは避けてください。
- (6) ロッドアンテナは垂直に長さいっぱい伸ばしてください。

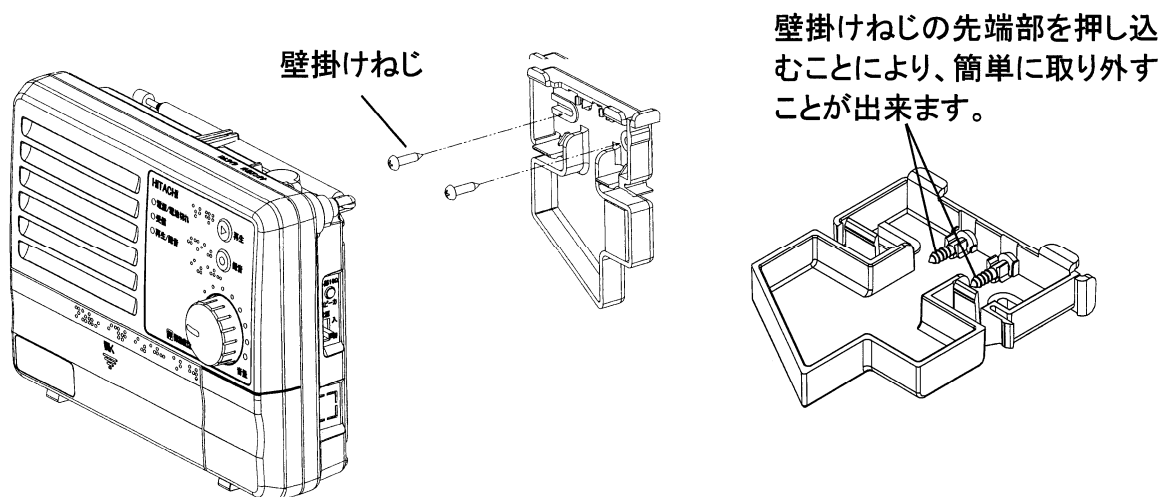
取り付け上の注意

- (1) 壁掛けホルダを水平に固定してください。(柱や壁の幅に合わせてねじの取り付け幅を調整してください。)
- (2) ねじと上部の障害物(天井等)との距離は 12cm 以上離してください。



10.1. 壁掛け時の取り付け方法

壁に掛けて使用する場合は付属の壁掛けホルダを、前ページの図に従って取り付けてください。

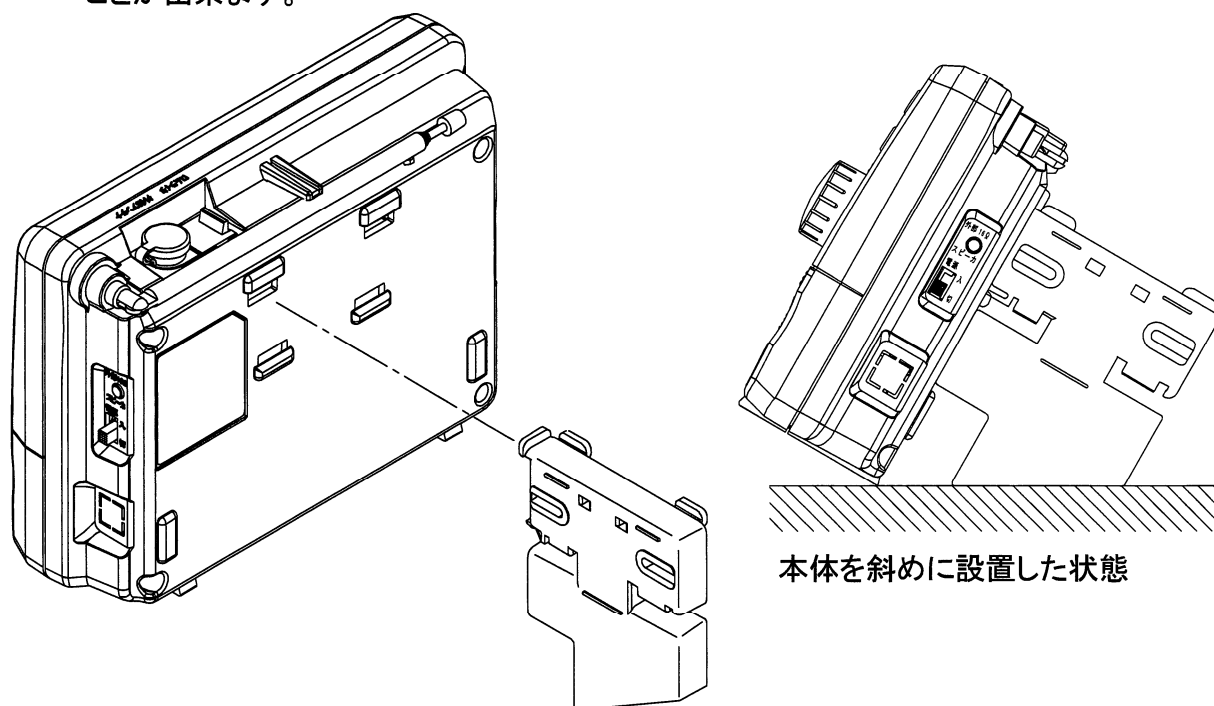


注意

ねじを取外すときは、指をけがしないようにご注意ください。

10.2. 据え置き時の取り付け方法

据え置き時に壁掛けホルダを図のように取り付けることにより、本体を斜めに取り付けることができます。





<http://www.hitachi-kokusai.co.jp/>

2019 年 7 月

第二版

E400632938B



E400632938-25/25